

平成 29 年度事業報告書

1 基本財産の造成状況

(単位：円)

区 分		金 額 (円)
行政	岩 手 県	10,000,000
	市 町 村	10,000,000
	小 計	20,000,000
民間	学校法人岩手医科大学	5,000,000
	一般社団法人岩手県医師会	5,000,000
	小 計	10,000,000
合 計		30,000,000

2 基本財産の運用状況

(単位：円)

運用先	種 別	当期末残高	基本財産 運用収入	運用実績 (年利換算)
三菱UFJモルガン スタンレー証券	利付国債	19,813,702	333,073	1.68%
三菱UFJモルガン スタンレー証券	利付国債	10,020,837	112,424	1.12%
岩手銀行雫石支店	預金	165,461	0	0.00%
合 計		30,000,000	445,497	1.48%

3 庶務事項

(1) 役員の構成

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	大 井 清 文	
副理事長	石 川 育 成	一般社団法人岩手県医師会長
〃	小 川 彰	学校法人岩手医科大学理事長
専務理事	青 木 俊 明	いわてリハビリテーションセンター副センター長 (事)
理 事	大 槻 英 毅	岩手県医療局長
〃	佐 藤 義 朝	いわてリハビリテーションセンター副センター長 (医)
〃	高 橋 昌 造	岩手県町村会代表 (矢巾町長)
〃	八重樫 幸治	岩手県保健福祉部長
〃	柳 村 典 秀	岩手県市長会代表 (滝沢市長)
監 事	村 井 淳	岩手県市長会事務局次長
〃	佐々木 政徳	公認会計士

(2) 事務局の構成

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名	備 考
事務局長	五 日 市 治	業務推進部長
事務局次長	村 上 正 晃	業務推進課長(総務担当)
書 記	山 本 康 典	業務推進課長(医事担当)
〃	高 橋 正 好	業務推進課長(予算経理担当)
〃	岩 渕 鋼	主 任
〃	矢 田 森 遥 香	主 事

(3) 理事会の開催

ア 第 9 回理事会

日時 平成 29 年 6 月 5 日 (月) 午後 1 時 30 分から

場所 エスポワールいわて 3 階特別ホール

- 議事 議案第 1 号 平成 28 年度事業報告及び収支決算案について
 議案第 2 号 平成 29 年度県出資等法人運営評価について
 議案第 3 号 平成 28 年度定時評議員会の招集について
 議案第 4 号 名誉理事長の称号の授与に関する規程の制定について
 議案第 5 号 名誉理事長の称号の授与について

イ 第 10 回理事会

日時 平成 30 年 3 月 12 日 (月) 13 時 30 分から

場所 エスポワールいわて 3 階特別ホール

- 議事 議案第 1 号 平成 29 年度収支補正予算案について
 議案第 2 号 平成 30 年度事業計画案及び収支予算案について
 議案第 3 号 職員就業規程の一部改正について
 議案第 4 号 平成 29 年度臨時評議員会の招集について

(4) 評議員会の開催

ア 第 9 回評議員会

日時 平成 29 年 6 月 21 日 (水) 午後 1 時 30 分から

場所 ニューカリーナ 2 階「ルピナス」

- 議事 議案第 1 号 平成 28 年度事業報告及び収支決算案について
 議案第 2 号 平成 29 年度県出資等法人運営評価について
 議案第 3 号 理事 9 名の選任について
 議案第 4 号 監事 2 名の選任について
 議案第 5 号 評議員 11 名の選任について

イ 第 10 回評議員会

日時 平成 30 年 3 月 28 日 (水) 13 時 30 分から

場所 エスポワールいわて 3 階特別ホール

- 議事 議案第 1 号 平成 29 年度収支補正予算案について
 議案第 2 号 平成 30 年度事業計画案及び収支予算案について
 議案第 3 号 理事 1 名の選任について

4 事業の実施状況

(1) リハビリテーション医療事業

A 入退院患者の状況

(単位：人)

平成 28 年度末 入院患者数	平成 29 年度 入院患者数	平成 29 年度 退院患者数	平成 29 年度末 入院患者数
86	319	321	84

ア 平均入院日数

(単位：日)

	男性	女性	合計
平成 29 年度	90.8	89.7	90.4
平成 28 年度	86.5	92.1	88.1
増 減	4.3	▲2.4	2.3

イ 退院先

平成 29 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数 (人)	245	48	28	321
構成割合 (%)	76.3	15.0	8.7	100

<参考>

平成 28 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数 (人)	265	47	28	340
構成割合 (%)	78.0	13.8	8.2	100

ウ 入院患者の疾患別内訳

平成 29 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数 (人)	205	27	61	9	17	319
構成割合 (%)	64.3	8.5	19.1	2.8	5.3	100

<参考>

平成 28 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数 (人)	232	31	51	7	19	340
構成割合 (%)	68.2	9.1	15.0	2.1	5.6	100

エ 平均年齢

(単位：歳)

平成 29 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	62.0	62.2	62.0

<参考>

(単位：歳)

平成 28 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	58.7	64.6	60.5

オ 主な保健医療圏別患者数

平成 29 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数 (人)	142	40	37	35	12	8	30	15	319
構成割合 (%)	44.5	12.6	11.6	11.0	3.7	2.5	9.4	4.7	100

※その他の内訳：久慈 4 人、両磐 6 人、県外 5 人

<参考>

平成 28 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数 (人)	142	56	27	19	11	13	39	33	340
構成割合 (%)	41.8	16.5	7.9	5.6	3.2	3.8	11.5	9.7	100

※その他の内訳：久慈 10 人、両磐 8 人、県外 15 人

B 外来患者の状況

平成 29 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数 (人)	4,082	664	54	107	957	202	219	0	2,203

<参考>

平成 28 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数 (人)	4,608	726	70	75	957	244	190	0	2,262

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況

(単位：人)

区 分		平成 29 年度	平成 28 年度	増 減	備 考
入 院	延患者数	29,518	30,291	▲773	
	1日平均患者数	80.9	83.0	▲2.1	
外 来	延患者数	4,082	4,608	▲526	
	1日平均患者数	16.7	19.0	▲2.3	

イ 非常設診療科外来患者の状況

(単位：人)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増 減	備 考
泌尿器科	664	726	▲62	
耳鼻咽喉科	54	70	▲16	
眼 科	107	75	32	
歯 科	957	957	0	
循環器内科	202	244	▲42	
糖尿病代謝内科	219	190	29	
精神科	0	0	0	休診中

D 訪問事業の状況

平成 29 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	41	11
延訪問回数 (回)	2,434	373

<参考>

平成 28 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	41	10
延訪問回数 (回)	2,205	402

E 通所事業の状況

平成 29 年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	7
延利用回数 (回)	263

<参考>

平成 28 年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	5
延利用回数 (回)	144

※平成 28 年 6 月に事業開始。

F 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、

退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

平成 29 年度	148 件
平成 28 年度	147 件

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

① 粟石町介護予防教室への講師派遣

派遣回数 10 回、派遣職員数延 14 人、被指導者数 79 人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施
開催回数 4 回、派遣職員数延 39 人 被指導者数延 138 人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を、年間 4 回ホームページ上に掲載し発信した。

D 広域支援センター支援事業

- ・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を 2 回開催（8 月 24 日、3 月 13 日）
- ・広域支援センター、保健所等との連絡調整、話題提供等
8 圏域、9 回、従事職員数延 11 人（胆江 2 回、その他、盛岡北部、宮古以外各 1 回）

E 介護予防研修会

要請の市町村圏域への支援

① 両盤圏域 介護予防専門研修会

派遣回数 1 回、被派遣職員数 1 人、被指導者数 43 人

② 久慈圏域 介護予防教室

派遣回数 1 回、被派遣職員数 2 人、被指導者数 19 人

G 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

- ・相談支援コーディネーター 4 名及び地域支援コーディネーター 4 名を配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。
相談件数延べ 793 件、実人数 100 名
- ・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催
2 回開催、出席者数延べ 57 人

H 被災地高齢者リハビリテーション支援事業

各関係機関と連携し被災地支援活動を行った。

- ・支援回数 28 回、従事職員数延 131 人、被支援者数延 214 人

I シルバーリハビリ体操指導者養成事業

県の介護予防事業である高齢者を対象とした体操指導者の養成講習について、モデル 3 町のフォローアップ支援を継続すると共に、11 市町村（うち 9 市町村を当センターが担当）で 3 級養成講習、6 市町村で 2 級養成講習を実施した。

- ・ 2 級指導者養成講習会（4 日間）
開催回数 2 回、従事職員数延 47 人、養成数 44 人
- ・ 3 級指導者養成講習会（6 日間）
開催回数 4 回、従事職員数延 148 人、養成数 104 人
- ・ フォローアップ、通いの場評価等
開催回数 15 回、従事職員数延 33 人、被指導者数 345 人
- ・ 指導者養成事業に係る講演会及び 3 級指導者交流会
開催回数 1 回、従事職員数 13 人、参加者数 110 人

(3) 教育研修事業

A 医療従事者対象研修会（保健師、看護師等）

- ・呼吸リハビリテーション研修会（1 日間） 開催回数 1 回、受講者数 25 人

・高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数1回、受講者数延70人

B 患者家族教室

お口元気教室、医師講話会、リハビリ教室、栄養教室 開催回数45回、参加者数延498人

C 学生受け入れ

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の学生受け入れ
延24校、実201人(延1, 239人)

D リハビリテーションセンター体験学習

ふれあい看護体験 17人、サマーセミナー 2人、インターンシップ 5回、8人

E 講師派遣

学生講義、施設職員対象研修等 23回、受講者数延1, 353人

F 院内職員研修会

開催回数15回、参加者数延933人

- ① 4月26日 テーマ「医療安全研修～KYTについて～」
講師 理学療法科長 佐藤英雄、看護師長 齋藤由利子
- ② 5月25日 テーマ「リハビリテーション～運動療法の有用性」
講師 岩手医科大学医学部リハビリテーション医学教授 西村行秀
- ③ 5月31日 テーマ「医療安全研修～一次救命処置について」
講師 副センター長 佐藤義朝、医療社会事業士 小笠原由梨乃
- ④ 6月22日 多職種研修会 テーマ「目標達成プログラム 事例を通してのグループワーク①」
司会 多職種研修会実行委員会
- ⑤ 6月28日 テーマ「28年度決算の概要」「いわてリハビリテーションセンターの動向について」
講師 副センター長 青木俊明、理事長兼センター長 大井清文
- ⑥ 7月 6日 多職種研修会 テーマ「目標達成プログラム 事例を通してのグループワーク②」
司会 多職種研修会実行委員会
- ⑦ 7月26日 テーマ「感染性廃棄物の処理金額と廃棄方法」「結核の基礎知識について」
講師 臨床検査技師 川村将史、診療放射線科長 菊池武彦
- ⑧ 8月30日 テーマ「インシデント報告」「転倒転落報告」「暴言・暴力について」
講師 主任看護師 吉田裕子、言語聴覚療法科長 阿部信之、看護師長 齋藤由利子
- ⑨ 9月27日 テーマ「心の健康を保つために ストレスとストレス対処 セルフケア」
講師 岩手産業保健総合支援センター
臨床心理士・精神保健福祉士・産業カウンセラー 藤井由里
- ⑩ 11月29日 テーマ「感染対策の視点からの環境整備」
講師 岩手医科大学附属病院 医療安全管理部 感染症対策室
感染管理認定看護師 栗山聡美
- ⑪ 12月19日 多職種研修会 テーマ「サブリーダーの役割を考える」
司会 多職種研修会実行委員会
- ⑫ 12月20日 テーマ「個人情報の保護について（医療機関における改正個人情報保護法への対応）」
講師 業務推進課長（医事） 山本康典
- ⑬ 12月27日 テーマ「改善の接遇サイクルについて」
講師 看護師長 上斗米律子、主任作業療法士 長山悦子
- ⑭ 2月28日 テーマ「管理の必要な薬品の取扱いについて」「褥瘡の基礎からアップデートまで」
講師 薬剤副科長 伊藤禎人、県立中央病院特任看護師・皮膚排泄ケア認定看護師 小野寺直子
- ⑮ 3月28日 テーマ「平成30年度診療報酬改定について」
講師 理事長兼センター長 大井清文

G 普及啓発

①視察者に対するリハビリテーションの普及啓発

民間団体等のセンター視察対応

視察者数 861団体(平成5年10月～平成30年3月) 延べ16,574人 (当年度1団体30人)

②いわてリハビリテーションフォーラム

一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発

開催日 平成29年12月 3日(日) 場所 アイーナ 来場者数 262人

(4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

<研究内容>

A 平成29年度研究発表業績

ア 診療部

医局

1. 岩手県における摂食嚥下リハビリテーションの現況
第29回日本喉頭科学会総会・学術講演会 岩手県盛岡市 2017年4月6日
○佐藤義朝
2. VF検査で食道蠕動運動障害による食塊停滞を認めた症例の臨床的特徴
第54回日本リハビリテーション医学会学術集会 岡山県岡山市 2017年6月8日
○佐藤義朝、大井清文、高橋 明、村上英恵、村田深雪
3. 台風10号で被災した岩手県岩泉町におけるいわて JRAT の活動報告
第54回日本リハビリテーション医学会学術集会 岡山県岡山市 2017年6月8日
○大井清文、高橋明、佐藤義朝、村上英恵、村田 深雪
4. 脳損傷による重度痙縮に対して、中建中湯が奏効した1例
第22回日本東洋医学会県部会 岩手県盛岡市 2017年6月19日
○佐藤義朝
5. 食塊移送不全に対して0度仰臥位で直接訓練を開始し、3食経口摂取が可能となった両側被殻出血の1例
第42回日本リハビリテーション学会東北地方会 山形県山形市
診療部 ○森潔史、佐藤義朝、大井清文、村上英恵、村田深雪
岩手医科大学 リハビリテーション医学科 西村行秀
6. 食器用チルトテーブルの使用による、摂食動作改善効果
第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会 千葉県千葉市 2017年9月15日
診療部 ○佐藤義朝、大井清文 機能回復療法部 阿部栞、佐藤育美、阿部信之
7. 大規模災害時の転倒予防対策 東日本大震災、平成28年台風10号岩手災害、熊本地震を経験して 東日本大震災を経験して
第4回日本転倒予防学会学術集会 岩手県盛岡市 2017年10月7日
○大井清文
8. 平成29年度上半期における当センターの診療状況
第3回岩手神経疾患講演会 岩手県盛岡市 2017年12月9日
○佐藤義朝、森潔史、大井清文
9. 意思疎通困難な両側中大脳動脈領域梗塞の症例に対し、摂食嚥下リハビリを行う際の倫理的課題
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
診療部○佐藤義朝、大井清文 機能回復療法部 外下育美、山下浩樹、木附沢一茂
医療連携部 後藤淳博 看護部 神野晶子
10. VFで球麻痺様の食道入口部開大不全所見を認め、頸部筋緊張の関与が疑われた Critical illness polyneuropathy の1例
第43回日本リハビリテーション医学会東北地方会 宮城県仙台市 2018年3月3日
○佐藤義朝、森潔史、村田深雪、村上英恵、大井清文
岩手医科大学 リハビリテーション医学科 西村行秀

栄養管理科

11. 特別メニュー食の導入について～回復期リハ病棟での食事の対応～
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日

イ 看護部

- 1 2. 訪問看護師による摂食機能向上のための支援体制の構築
第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 千葉県 2017年9月15日16日
看護部○釜石絵利子、山本なお子 診療部 佐藤義朝、大井清文
- 1 3. 重度球麻痺患者に対する完全側臥位法における家族指導の留意点
いわて摂食嚥下研究会 岩手県盛岡市 2017年10月21日
○神野孝幸、下野心 診療部 佐藤義朝、大井清文
- 1 4. 若年期に頸髄損傷で重度の障害をもった事例の心理的援助
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○後藤由美
- 1 5. 転倒転落後の「現場検証」における患者への効果と課題
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○吉田裕子、齊藤由利子 診療部 大井清文
- 1 6. 脳血管障害患者の糖尿病治療中断理由に関する実態調査
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○佐藤真衣、佐藤宏之 診療部 大井清文
- 1 7. 退院前家屋調査への看護師の動向意義に関する調査
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○鈴木桃李、上斗米律子、後藤由美 機能回復療法部 高橋徹、佐藤弘樹 診療部 大井清文
- 1 8. インシデントレポートの振り返りによる内服評価スケールの検討
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○佐々木宏美、上斗米律子 診療部 大井清文

ウ 医療連携部

総合相談科

- 1 9. 意思決定支援における医療ソーシャルワーカーの役割
～発病により仕事と住まいを同時に失ったクライアントへの支援を通して～
第25回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 福島県郡山市 2017年6月3日～4日
○佐々木美音
- 2 0. 身元引受人の不在が施設入所に与える影響
～外国籍の友人が保証人となり入所先を探した事例～
第37回日本医療社会事業学会 北海道札幌市 2017年6月2日～4日
○後藤敦博、上田大介、小笠原由梨乃、阿部泰子、巢内洋肇、佐々木美音
- 2 1. 当センター退院患者の職業復帰の状況について
第37回日本医療社会事業学会 北海道札幌市 2017年6月2日～4日
○上田大介 地域支援部 青木俊明、山本なお子、諸橋勇、菊池浩子、古舘郁子、大久保訓
- 2 2. 入院中の障害年金申請支援の有用性に関する調査
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○阿部泰子、上田大介、小笠原由梨乃、巢内洋肇、佐々木美音、後藤敦博

エ 機能回復療法部

理学療法科

- 2 3. 回復期病棟脳卒中患者におけるFugl-Meyer Assessment 各項目得点とFIM運動項目との関係
第52回日本理学療法学会学術大会 千葉県 2017年5月11日～13日
○山下浩樹、渡邊充
- 2 4. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業」における指導者へのフォローアップについて
リハビリテーション・ケア合同研究大会 久留米 2017年10月19日～21日
○佐藤英雄、照井恵里香、渡部祐介 地域支援部 石川美弥子、青木俊明 診療部 大井清文
- 2 5. 長下肢装具の長さが歩行時の下肢筋活動に及ぼす影響

～KAF0 と semi-KAF0 の筋電図学的分析～

第 35 回東北理学療法学会 岩手県盛岡市 2017 年 11 月 18 日～19 日

○佐藤弘樹、工藤智紀、関公輔

26. 岩手県シルバーリハビリ体操養成指導者講習会における療法士の役割について
第 35 回東北理学療法学会 岩手県盛岡市 2017 年 11 月 18 日～19 日
○村上敏昭、渡辺幸太郎、照井恵利香、渡部祐介、佐藤英雄 診療部 大井清文
27. 平成 28 年台風 10 号被害による岩泉町におけるいわて JRAT 活動の実際
第 35 回東北理学療法学会 岩手県盛岡市 2017 年 11 月 18 日～19 日
○小野寺一也、関公輔、渡部祐介、大久保訓、佐藤英雄、諸橋勇 診療部 大井清文
28. ハムストリングスの冷却時間の違いが立位体前屈に与える影響～実施時間に着目して～
第 35 回東北理学療法学会 岩手県盛岡市 2017 年 11 月 18 日～19 日
○江口舞人、佐藤弘樹、小野寺一也、山下浩樹、関公輔 山形医療技術専門学校 長沼誠、
福田守、黒沼賢矢、奥山華衣、日下美佳
29. 目的別の端座位の位置の比較－異なる端座位条件の違いが端座位位置に与える影響－
第 35 回東北理学療法学会 岩手県盛岡市 2017 年 11 月 18 日～19 日
○沢田行秀、山下浩樹、関公輔
30. 健常者における両側四点杖を使用した 2 動作交互歩行が骨盤運動と床反力に与える影響
第 19 回岩手県理学療法学会 岩手県 2017 年 11 月 18 日
○三浦佑子、佐藤弘樹、小野寺一也、関公輔
31. 台風 10 号被害による岩泉町災害時リハ支援活動調査報告－避難所における避難者数に対する
いわて JRAT 対応件数の後方視的検討－
回復期リハビリテーション病棟協会第 31 回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018 年 2 月 3 日～4 日
○関公輔、大久保訓、渡部祐介、小野寺一也、鷹觜悦子、佐藤英雄、諸橋勇
業務推進部 五日市治 診療部 大井清文
32. 岩手県シルバーリハビリ体操 2 級指導者養成講習会について
～振り返りシートから見えること～
回復期リハビリテーション病棟協会第 31 回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018 年 2 月 3 日～4 日
○山口美沙都、佐藤 英雄 地域支援部 石川 美弥子、青木 俊明 診療部 大井清文
33. 教師への復職を目指した脳卒中片麻痺の一例～回復期リハビリテーションから生活期リハビリ
テーションを通しての関わり～
回復期リハビリテーション病棟協会第 31 回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018 年 2 月 3 日～4 日
○高階欣晴、浅野文博、釜石絵利子、大井清文

作業療法科

34. 「岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業」における作業療法士の関わり
～一般住民に医学的知識を習得してもらうための取り組み～
第 27 回東北作業療法学会 宮城県仙台市 2017 年 6 月 24 日～25 日
○渡部祐介、山崎麻友、照井恵利香、佐藤英雄 診療部 大井清文
35. 自分の身体に触る事ができなかった症例の ADL 自立に向けた取り組み
～感覚障害と四肢麻痺の症例に対して MTDLP を用いて～
第 27 回東北作業療法学会 宮城県仙台市 2017 年 6 月 24 日～25 日
○小笠原未久、照井恵利香、渡部祐介
36. 「妻に負担をかけたくない」という思いからトイレ動作の獲得を目指した一症例
第 27 回東北作業療法学会 宮城県仙台市 2017 年 6 月 24 日～6 月 25 日
○小志戸前奈那、小野寺さき、大久保訓
37. 台風 10 号被害による岩手県岩泉町災害リハビリテーション支援活動報告
第 27 回東北作業療法学会 宮城県仙台市 2017 年 6 月 24 日～6 月 25 日
○大久保訓、渡部祐介、鷹觜悦子、内村貴喜 診療部 大井清文
38. 普代村介護予防事業における 3 年間の取り組みについて
第 51 回日本作業療法学会 東京 2017 年 9 月 22 日～24 日
○山崎麻友、渡部祐介、松頭育子、関裕也、診療部 大井清文

39. 両手関節切断を伴う対麻痺者の移乗動作獲得への対応
第51回日本作業療法学会 東京 2017年9月22日～24日
○小野寺さき、鷹觜悦子
40. 生活行為向上マネジメントを活用し、福祉機器での趣味活動再開を達成した症例
第51回日本作業療法学会 東京 2017年9月22日～24日
○阿部栞、照井恵利香 診療部 佐藤義朝
41. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の取組みについて（第二報）
リハ・ケア合同研究大会 福岡県 久留米市 2018年10月19日～21日
○照井恵利香、大森あゆみ、山崎麻友、山口美沙都、村上敏昭、渡辺幸太郎、佐藤育美、渡部祐介、阿部信之、佐藤英雄、諸橋勇 地域支援部 石川美弥子、青木俊明 診療部 大井清文
42. 在宅復帰を目標に取り組んだ症例～家族の介助でトイレ動作ができるように～
第31回岩手県作業療法学会 岩手県滝沢市 2017年10月22日
○山崎瑞香、山本晶子、川畑智代
43. 高次脳機能障害を呈した右片麻痺患者に対する環境調整と病棟訓練の重要性
第31回岩手県作業療法学会 岩手県滝沢市 2017年10月22日
○村田あすか、木附沢一茂、長山悦子
44. 平成28年台風10号被害による岩泉町の災害時リハ支援活動報告
第31回岩手県作業療法学会 岩手県滝沢市 2017年10月22日
○大久保訓、渡部祐介、鷹觜悦子 診療部 大井清文
45. 職員を対象とした「シルバーリハビリ体操教室」を実施して～
～自助・互助で支え合う職場環境を目指して～
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○渡部祐介、吉田賢史、下杉祐子、諸橋勇 診療部 大井清文
46. 回復期リハ病棟における岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の取組みについて
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○照井恵利香、佐藤英雄、石川美弥子 診療部 大井清文
47. 「2人で暮らしたい」夫婦の思い実現に向けて～同時期に脳血管障害を呈しながらも、夫婦そろって自宅退院した症例～
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○川畑智代、山本晶子、下野心 診療部 大井清文
48. 外泊時の生活状況の調査から得た課題について～外泊チェック表の使用結果より～
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○山本晶子、長山悦子、渡部祐介、大久保訓、看護部 後藤由美 診療部 大井清文

言語聴覚療法科

49. 当センターにおける脳卒中失語症患者の聴覚機能評価に検討(雑音下聴覚機能について)
第18回日本言語聴覚学会 島根県産業交流会館 2017年6月23日～24日
○阿部信之、大井清文、外下育美、後藤理佳子、渡部小麦
50. 放射線治療後の嚥下障害にWallenberg症候群を併発した重度嚥下障害に対し、完全側臥位と0度仰臥位から直接訓練を導入した結果、3食経口摂取が可能となった1例
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○女鹿清香、阿部信之 診療部 佐藤義朝、大井清文

臨床心理科

51. 高次脳機能障がい者支援連携ツール「日々ノート」の作成～支援機関同士の連携を強化するために～
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手 盛岡市 2018年2月2日～3日
○吉田賢史 村田深雪 上田大介 高山僚平 渡辺佳菜 外下育美 石鉢みづほ

オ 医療安全管理部

院内感染管理室

- 5 2. 当センター回復期病棟におけるインフルエンザ感染対策の効果と課題
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手県 盛岡市 2018年2月2～3日
○川村将史、村上英恵、佐藤義朝、大井清文

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年2回実施している。

ア 第47回院内研究発表会 2017年8月2日 17:30～18:30

1. 回復期病棟脳卒中患者におけるFugl-Meyer assessment各項目得点とFIM運動項目との関係
療法部：○山下浩樹、渡邊充
2. インフルエンザ対策の効果について一過去5年間のデータからわかったこと一
診療部：○川村将史
3. 回復期リハビリテーション病棟におけるナースコール稼働状況の実態調査
看護部：○佐藤優
4. 生活行為向上マネジメントの紹介～福祉用具を活用し趣味活動再開を達成した症例を通して～
療法部：○阿部栞、照井恵利香、鷹觜悦子

イ 第48回院内研究発表会 2018年3月20日 17:30～18:30

1. 入院中の障害年金申請支援の有用性に関する調査
医療連携部 総合相談科：○阿部泰子、上田大介、小笠原由梨乃、 巢内洋肇
佐々木美音、後藤淳博
2. 特別メニュー食の導入について～回復期リハ病棟での食事の対応～
栄養管理科：○高橋静恵 診療部 大井清文
3. 若年期に頸髄損傷で重度の障害をもった事例の心理的支援
看護部：○後藤由美
4. 高次脳機能障がい者支援連携ツール「日々ノート」の作成～支援機関同士の連携を強化するために～
機能回復療法部：○吉田賢史、外下育美、高山僚平、渡辺佳菜 診療部：村田深雪
医療連携部：上田大介、石鉢みづほ

C データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）

- ア データベースソフトの構築
イ データベース入力手順の取り決め及び運用
ウ データベース入力（約4180症例）
エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

動作解析装置の臨床応用を可能にし、より客観的なデータを示すことにより、リハ医療のエビデンスを構築する。そのために十分に器機やデータ分析の方法を理解する必要がある。

国際医療福祉大学大学院教授山本澄子先生を4回招聘し指導を受ける。

（2017年6月2日、9月14日、12月8日、2018年2月26日）

- ア 機器の精度の検討
イ 測定法、データ分析の指導を受ける（片麻痺患者の運動解析、健常者における運動機能分析）
ウ 健常者、患者の動作計測
エ 学会等で発表
オ センター職員への教育

E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

- ア 第44回国際福祉機器展 2017年9月28日～29日 東京
作業療法科 木附沢一茂 看護部 竹村昌子

- イ 平成29年度 第2回いわて医療機器事業化研究会 2018年2月23日 盛岡

F 研究開発部センター内情報発信活動

- ア 研究開発部マガジン（2回／月、院内向け）No. 270～289 発行
- イ これってな～に??（1回／月 院内向け）No. 75～86 発行
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。
 - ・ホームページの紹介
 - ・リハニュース 福祉機器の紹介
 - ・トピックス
 - ・学会、研修会情報
 - ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

- ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
- イ 動画編集システムの管理、運営
- ウ 統計処理のアドバイス
- エ 統計勉強会

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

- ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
- イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究
- ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
- エ C I 療法に関する研究
- オ 嚥下障害に関する基礎研究（V F 検査も含む）
- カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
- キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析
- ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
- コ 失語症者における聴覚機能に関する研究
- サ 車いすシーティングにおける基礎的研究

I その他

- ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力
- イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
- ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
- エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究
- オ 県立大学と共同研究 ①失語症と聴覚機能の評価
- カ ロボットスーツを使用した臨床への応用